

高速増殖原型炉もんじゅにおける燃料池等水面側壁のダクト排気口のスロッシング対策について

平成 28 年 11 月 22 日に発生した福島県沖の地震により、東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所 3 号機において、使用済燃料プールの水がスロッシングにより使用済燃料プールの排気ダクトから流出し、冷却浄化系ポンプが停止した事象が発生したことを踏まえた、高速増殖原型炉もんじゅの燃料池及び固体廃棄物貯蔵プールにおける水面側壁のダクト排気口のスロッシング対策については、以下のとおり。

1. 燃料池

燃料池水面側壁の排気ダクトについては、平成 19 年に発生した中越沖地震によって東京電力（株）柏崎刈羽原子力発電所において発生した使用済燃料プール水の溢水事象を踏まえたスロッシングによる燃料池の水のダクト内への流入対策として、平成 21 年 3 月に燃料池水面側壁のダクト排気口に閉止板（鋼板）を設置（写真参照）した。

2. 固体廃棄物貯蔵プール

貯蔵プール水面側壁については、ダクト排気口を設置していない。

写真 燃料池水面側壁のダクト排気口の閉止板設置前と設置後
設置前の排気ダクト



閉止板設置後



閉止板：厚さ 3 × 幅 440 × 縦 460 (mm)